



認定 NPO 法人 沖縄・球美の里 NEWSLETTER 2022年 1月発行 No.10

球美の里だより

新たな形で保養再開

2022 年を迎えて、早くも 1 か月が経とうとしています。いつもご支援いただきまして、ありがとうございます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

年末年始、久米島の球美の里は久しぶりに保養者のみなさまを迎えることができました。2020 年 2 月の母子保養以来、実に 1 年 10 か月ぶりのことです。

コロナ禍が続いている中、学童保養や母子保養など、大人数での団体保養の受け入れができないため、原則家族一組を受け入れる「ファミリー保養」を計画しました。今回は親戚 2 家族（保護者 2 人、子ども 6 人）が、年越し保養に参加しました。

また、12 月 24 ～ 26 日まで、福島県南会津郡只見町「森林の分校ふざわ」での短期保養も実施することができました。2 家族（保護者 4 人、子ども 5 人）が参加し、大雪の中のクリスマスを楽しみました。「森林の分校ふざわ」は、廃校になった小学校を利用した、宿泊できる山村の暮らし体験施設です。

保養の楽しい様子を 2、3 ページの Smile Smile でご覧ください。

今年 1 月 7 日から予定していた球美の里での 2 回目の「ファミリー保養」は、沖縄県内のコロナ感染急拡大により、急きょ延期せざるを得なくなりました。

せっかく再開できた保養が、また延期となってしまったのは残念でなりません。子どもたちのはじける笑顔が、早く球美の里に戻ってくれることを願って、現地スタッフは引き続き施設整備に努めています。

前回のニュースレターで保養中止をお伝えしてから、みなさまから多くのご寄付をいただき、感謝に堪えません。いただいたご寄付は、施設管理費や再開時の保養費にあてさせていただきます。

今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。





ファミリー保養 in 久米島

◇1年10か月ぶりの保養

(2021年12月～2022年1月)

天候にも恵まれ、プログラムはほぼ予定通り実施することができました。紅芋の焼き芋づくり、敷地内での里芋掘りと芋煮会、久米島の海から上がる初日の出や海に沈む夕陽の見学など、子どもたちにとって初めての体験がいっぱいできました。

◇比屋定バンタからの初日の出

元旦は、早朝のまだ暗いうちから比屋定バンタに行き、初日の出を拝みました。久米島で元旦が晴れたのは数年ぶりだそうです。比屋定バンタは多くの人たちでにぎわっていました。海から上がってくる神々しい日の出に魅了された保養者さんたちは、感動して見入っていました。美しい日の出を拝んだあとは、球美の里敷地内の土地の神様にご挨拶をしました。

お神酒とお塩を用意して、新型コロナが収束して以前のように多くの保養者さんが球美の里に来ることができるよう、そして保養者さんはじめみなさまの無病息災と平和を祈願して、敷地内を回りました。

その後、職員と子ども代表がお隣のやちむん土炎房さん（シーサー作り協力および送迎時のミニバス運転手もつとめている）のところに新年のご挨拶に行きました。やちむん土炎房さんのご主人から沖縄のお正月の風習などをお聞きしました。その日の夕食には、沖縄の伝統料理ジュシー（炊き込みご飯4ページの写真参照）も差し入れていただきました。



やちむん土炎房さん、本当にありがとうございました。

保養の最終日は、磯の生き物観察をした後、海岸で砂遊びをしました。穴を掘ったり、山を作ったり崩したり、時間を忘れて遊びました。そして、今回の保養の最後のイベントとして、海に沈む夕陽を見にシンリ浜に行きました。雄大な太陽が海に沈む時の幻想的な雰囲気を感じながら久米島の最終日が終わりました。



今回は久しぶりの保養でしたが、保養者さんの協力のもと無事終わることができました。子どもたちは早寝早起きし、食事もしっかり取り、食べ残しも少なく、笑い声に溢れ、保護者と共にリラックスして過ごしていました。天候にも恵まれ充実した日々だったと思います。

なんくるさんしんさんの歌と演奏、空手体験など、今回も島のみなさんにご協力いただきました。ありがとうございました。久米島の美しい初日の出が、みなさまの新年もあたたかく照らしますように。



ファミリー保養 in 会津

◇会津で初めての保養

(2021年12月24日～26日)

福島県南会津郡只見町にある【森林の分校ふざわ】でファミリー保養を行いました。廃校になった小学校を利用した、山村の暮らし体験施設です。2家族がホワイトクリスマスを過ごしました。雪遊びの他、豆打ち、ケーキ作り、囲炉裏での魚焼きなど、たくさんの体験をすることができました。

* 宿泊施設の周辺やトレッキングコースなどの放射線量は、事前にたらちねが測定をしています。



参加者の声

☆ ふざわでの保養生活では、スタッフのみなさんがとても親切で、いろいろと臨機応変に対応してくださったので、楽しく快適に過ごすことができました。食事も手作りで大変美味しかったです！ 普段家事育児で忙しく、中々ゆっくり子どもたちと遊ぶことができないのですが、今回保養に参加することで、子どもと過ごす時間をたくさん作ることができました。放射線を気にせずのびのび遊ばせることができたのは、本当に良かったです。機会があれば、また参加したいです。

☆ 放射線を気にせず雪遊びができました。降っている雪を食べてみたり、団子雪を作って舐めている姿をみてみんなで大笑いしました。放射能の不安から遠ざかるための保養でしたが、家事をしない分、子どもとたっぷり遊ぶことができ、母の保養にもなりました。ゆっくりと過ごさせていただきました。





☆ファミリーサポート☆

前号でもお知らせしましたが、保養休止期間を利用して、久米島町に貢献できることはないかを模索した結果、久米島町内の幼稚園・保育園・子育て支援センターなどの子どもたちを対象に、施設の一部開放をしています。それ以外にも久米島町役場福祉課に協力して、ファミリーサポートの援助を行っています。ファミリーサポートとは、地域での子育てをサポートする仕組みです。球美の里の職員が、ファミリーサポート会員（まかせて会員）に登録し、福祉課からの依頼により対応しています。また、他のファミリーサポート会員のために、無償で施設の開放も行っており、時間はあるが預かる場所がない「まかせて会員」のみなさまに、活用していただいています。

これらの活動により、町民のみなさまに球美の里のことを少しでも知ってもらえれば、と期待しています。



☆池の整備☆

本館横の池を少しずつ整備しています。今までは立ち入り禁止のエリアでした。保養休止期間中に職員と本島からのボランティア1名で池の中に入り、雑草などを除去しました。同時に、池の横の小川の木々を切り、陽が当たるようにし、景観を良くしました。いずれはここで久米島ホテルの観賞や水遊びができるようにしたいと思っています。

池の周りを保養者さんが散策できるように小径を作りました。球美の里より上には人家がありません。この水は山から沁み出た湧き水で、本当に透き通った綺麗な水です。球美の里に来た時には、小川のせせらぎの音を聞きながら、小径の散策を楽しんでください。



☆球美の里の農園☆

敷地内の畑では、昨年より里芋を育て、今回の保養で子どもたちと一緒に掘りあげました。敷地内には、バナナ、パパイヤ（写真）、シークワサーなどがあります。すべて無農薬です。今回の保養では、里芋とシークワサーを食べました！ バナナは秋にいわき市のたらちね・こども保養相談所に送り、食べてもらうことができました。また、島内の耕作放棄地をお借りして、島のボランティアさんと共に新たな農地整備を始めました。進展については今後報告いたします。



☆保養中のメニューから

ジュシーは、やちむさんからの差入れです。

右下／ジュシー（炊き込みご飯）

左下／切り干し大根の煮つけ

左上／芋煮汁～里芋（球美の里産）、
人参、しめじ、コンニャク、

大根、ゴボウ、豚バラ

右上／もずくのあえもの



たらちね・こども保養相談所から

子どもたちの歩む道が少しでも明るいものになりますよう

たらちねではいわき市内を中心に公園の測定を行っています。公園の敷地内はホットスポットファインダー※で空間線量の測定を行います。また、広場や遊具付近の土壌を採取し、たらちねのラボで測定をしています。

空間線量ではあまり変化がない場所も土壌を測定してみると、数値の差がとても大きいことが分かります。落ち葉が溜まり腐葉土化している場所やくぼんでいて水が溜まりやすい場所などは汚染が高い傾向にありますが、やはり実際に測定をしてみないと本当の汚染の度合いは分かりません。また、屋外の環境は雨や風などの影響で常に変化します。一度測定したからといって、その汚染度合いがずっと続くわけではなく、何らかの影響で低くなったり、逆に汚染がどんどん高くなってしまいうこともあります。それ故に、汚染が高い場所も低い場所も継続的に測定をしていくことが大切だと思います。

福島第一原子力発電所の事故からもうすぐ11年が経とうとしています。時間の経過と共に社会の中の関心も薄れつつありますが、大量放出した放射性物質は今も子どもたちを取り巻く環境の至るところに存在します。目に見えない・におわない・感じないという放射性物質特有の性質が私たちの意識を遠のさせるのかもしれません。

原発事故当時に赤ちゃんだった子は中学生に、中学生だった子は社会人となり、お母さん・お父さんとして子どもを守る立場になっている方もいます。子どもたちの成長を通して、時の流れの早さを感じると共に、原発事故の収束にはとても長い年月がかかることを改めて感じています。

放射能汚染に廃炉の作業、汚染水の処理や子どもたちの心身の健康への不安と福島原発事故は様々な問題を抱えています。これらの問題がいつ解決するのか、予測することもできませんが、子どもたちの歩む道が少しでも明るいものになりますよう、たらちねとしてできることを続けていきたいと思っています。

※ ホットスポットファインダーとは、GPS 連動型の空間線量率自動記録システムです。タブレットのパソコンと小型の超高感度ガンマ線検出器を持ち歩いて計測すると、移動経路ごとに、その場所の空間線量率を記録することができます。

泉ヶ丘東公園 2021/9/30 いわき市泉ヶ丘1丁目



* 日本遮蔽技研 歩行サーベイ ホットスポットファインダー (HSF) にて、地上1mを測定。単位は「μSv/h」(3秒間の平均値)。

右表

※1 HORIBA 社 環境放射線モニタ Radi PA-1100 で測定。

※2 ATOMTEX 社 NaIシンチレーション検出器 AT1320A

測定材料	採取場所	空間線量 (検査)μSv/h	測定結果(Bq/kg/90)
①土壌	公園西隅	0.19 μSv/h	Cs137 2930±301 Cs134 113±13
②土壌	公園西隅	0.10 μSv/h	Cs137 1110±114 Cs134 40±5
③土壌	公園西隅	0.08 μSv/h	Cs137 344±36 Cs134 13±2
④土壌	公園西隅	0.08 μSv/h	Cs137 126±13 Cs134 4±1
⑤土壌	公園中央	0.06 μSv/h	Cs137 287±29 Cs134 8±1
⑥土壌	公園内	0.16 μSv/h	Cs137 2020±207 Cs134 80±9
⑦土壌	公園内	0.06 μSv/h	Cs137 331±34 Cs134 11±1
⑧土壌	公園内	0.06 μSv/h	Cs137 181±10 Cs134 3±1

たらちねクリクックから

「あれ！かっちゃんだよな？」

「おお、みいちゃんかい！」

「いやあ、久しぶりい！白髪だらけになったねえ」

「お前もいい年して、そんなおしゃれな服は似合っていないよ」

数十年ぶりに会った友達と、時空を超え、無礼千万な会話が飛び交う。

「今、いわきに住んでいるんだよ」

「そうかい、俺も7～8年そっちで仕事してた」

「原発か、大変だよなあ」

「いわきの魚は、うまかったなあ」

“ハグ”なんて上等な言葉なんてなかったあの頃に戻り、肩をたたき合いながら再会を体中で喜びました。趣味も仕事も性格も全く違うのに、子ども時代の友達とは、大人になってもすぐに心が開かれ打ち解けます。そして今の自分を創ってくれたのは、小さい時の友達とのたくさんの体験の影響が強いようです。

今コロナ禍の学校や保育園・幼稚園では、給食の時はしゃべるな、大声を出すな、手をつなぐな、集まるなと言われ、部活の制限、マスクや消毒の強要もされています。それが子どもたちの成長に、どれだけマイナスになっているのかを問われることもありません。

このような状況は11年前にもありました。外で遊んではいけない、土や花を触ってはいけない、登園登校時にはマスクをする、自宅の畑や山で採ってきたものは食べてはいけない。そして子どもたちにとって何よりもつらかったのは、避難によって友達がバラバラになってしまったこと。大人の考え方の違いで、子どもたちも分断されてしまったことです。一生のうちに最も大切な一時期を、無茶苦茶にされた子どもたちの心の傷は、簡単には取り戻せません。

保養という言葉には、多少の違和感があります。日常の疲れやストレスから解放され、温泉にでも入って手足を伸ばし、のんびり過ごす。

そんな大人の保養のイメージが、浮かんできてしまいます。自然の中で、新しい友達と、思いっきり遊ぶ。これは、子どもたちの成長にとって絶対的に必要なことです。いわば子ども時代のルーティンワークといってもいいのではないのでしょうか。久米島で行われている保養では、その期間中「福島っ子、保養中」の幟りが立てられていました。しかし、子どもが遊んでいるのに何で保養なの？と、島の人たちになかなか理解されなかったため、「福島っ子、活動中」に変えたこともありました。

ストレスに抵抗する自然治癒力を引き出すために重要とされる4つの活動。「からだを動かす」「自然を楽しむ」「良い人間・動物との関係を味わう」そして「遊ぶ」である（原田誠一『精神療法』金剛出版より）。

11年経過した福島で、子どもたちは思いっきり成長できているのでしょうか。今でも立ち入れない場所は多くあり、危険な食べ物もすぐ隣に存在しています。特に放射線の影響を受けやすい小さな子どもたちには、十分気を配らなければなりません。それは、何年たとうが変わりありません。

事故当時小さかった子どもたちに、甲状腺がんが見つかるケースが、今もって見受けられています。その原因は、あの時受けた大量の被ばくの影響ではないとは、誰も言えません。11年経過した今だからこそ、特に当時小さかった子どもたちの甲状腺検診は、力を入れて継続していくべきでしょう。

時代や場所によっては、子どもたちが犠牲になったり、成長が歪められたりする場面に出くわすことがあります。子どもたちを取り巻く過酷な状況からは、一人一人守らなければならないし、大人の都合と尺度で子どもたちを見るのも、改める必要があるのではないのでしょうか。

院長 藤田 操

ファミリー保養参加者募集中！

久米島 ファミリー保養参加者募集中！

球美の里では、コロナの状況に対応しながらも、今後も球美の里（久米島）でのファミリー保養を実施していきたいと考えています。

今年の春休みまでの期間限定で保養の相談を受け付けています。

- ・滞在期間：2022 年春休み終了までの間の 4 泊 5 日
- ・原則として、1 家族限定の宿泊となります。
- （ご親戚同士などで宿泊を希望される方はご相談ください）



久米島事務局スタッフ
手作りの松飾り

会津 短期ファミリー保養も募集中！

福島県南会津郡只見町「森林の分校ふざわ」での保養も募集中です。

- ・滞在期間：1 泊 2 日または 2 泊 3 日（それ以上の宿泊数は応相談）
- ご希望の日程をお知らせください。
- ・現地集合、現地解散です。

※ファミリー保養の参加費などにつきましては、球美の里のホームページを参照してください。
またはたらちね・こども保養相談所までお問い合わせください。

くまべこお泊まり会 in 只見

くまべこ・子どもを守るママの会が主催するお泊まり会の宿泊費・活動費等を球美の里で支援しています。「くまべこ」は、大熊町の「くま」と会津地方の郷土玩具「赤べこ」から名前をとっています。

- ・期間：2022（令和 4）年 3 月 19 日（土）～ 21 日（月・祝）
3 月 19 日 13:00 集合 21 日 13:00 解散
- ・場所：森林の分校ふざわ
- ・参加費：無料
- ・募集人数：10 名程度
 - * 3 歳以上中学生以下の児童生徒とその保護者。
 - * 親子参加を基本としますが、小学生以上は子どものみの参加も可とします。
 - * 子どものみの参加定員：5 名まで
- ・募集対象：
 - * 震災当時、福島県に居住していた世帯のお子さん
 - * 大熊町立幼稚園・小学校・中学校在学または過去に在学していた児童生徒優先



上記それぞれの保養を希望される方は（情報をご希望の方も）、たらちね・こども保養相談所までご連絡ください。

電話：0246-38-7173 / Fax 0246-38-8322 / メール：tarachine.hoyou@gmail.com

（注）コロナの感染状況により、各保養につきましては、中止または延期の場合もあります。

Information

■ご寄付のお礼とお願い

◎ご寄付いただいたみなさま(団体からのご寄付・2021 年 3 月～2022 年 1 月 17 日／順不同・敬称略)

..... *

☆キッチンファイブ、☆BLUEMOON CANDLE OKINAWA、
☆ひばりが丘 グレイス教会、☆宮ノ前ハイツ 喜楽会、
☆ジュピマール、☆彩雲リーディング、☆フライブルク市民
大学、☆日本食レストラン 芭蕉庵(ドイツ・フライブルク)、
☆KENKOKAN Görlitz(ドイツ・ゲルリッツ)、☆ギター弦の会、
☆我楽多、☆アウレオ、☆シェア・ワールド、☆藤井ようこと
フクシマ応援隊、☆クール・グルヌイエット、☆ジャパンカイ
ンドネス協会(プロゴルファー上原彩子様 ゆび募金活動

より)、☆お絵描きぼけっと、☆さぼさぼであい市、☆城南信
用金庫、☆沖縄 カカオプロジェクト(ネパリ・バザール)、
☆沖縄ヨガ協会

※紙面の都合により寄付金をいただいた団体名のみ記載
させていただきます。多くの個人の方からご寄付、
寄贈品をいただいています。感謝申し上げます。

※リサイクル品や web 上でウィッシュリスト公開後、いろい
ろな品物を多くのみなさまより提供していただいています。
お名前を掲載できませんが、ご了承ください。

◎今はなるべく、施設維持の経費を最小限に抑えるよう努
力していて、休業中にいただいた寄付は、活動再開時の
ためにプールさせていただきます。

■沖縄・球美の里への寄付口座／クレジット(PAYPAL)のご案内

〈ゆうちょ銀行〉00160-6-634014

口座名 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里

〈三菱 UFJ 銀行〉高田馬場支店(053)

普通 1231737

口座名 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里

〈クレジットで決済(PAYPAL)〉沖縄・球美の里のホームペ
ージ「寄付する」からお申し込みいただけます。

※ゆうちょ口座から毎月自動的に定額ご寄付いただくこと
が可能になりました。金額は1,000円から自由に設定で
きて、一度手続きをすれば、以降の郵便局からの振込
手続きが不要となります。ご希望の方に専用の「自動
払込利用申込書」を東京本部より送りますので、お問い
合わせください。

※お願い: 寄付をしてくださった方は、払込用紙に「住所・

氏名・連絡先の電話番号かメールアドレス」をご記入くだ
さいますようお願いいたします。払込用紙を使われない
場合(ネット送金など)は、お礼の連絡や領収書送付の
ため、ご寄付くださった旨、電話・ファックス・メールでお
知らせください。お手数をおかけしますが、よろしくお願い
します。

※寄付控除について: 会社や団体、個人が認定 NPO 法人
に寄付された場合、所得控除・税額控除の対象になりま
す。球美の里も活動内容が認められて、2015 年 7 月に
認定を取得しました。控除を受ける場合は、領収書が必
要となりますので、寄付をしてくださった際に球美の里の
東京本部からお送りする領収書を保管の上、確定申告
をしてください。詳細は、地域の課税窓口か球美の里ま
でお問い合わせください。

■NEWS LETTER『球美の里だより』10号を発行します

球美の里のニュースレター『球美の里だより』10号をお届け
します。球美の里のご支援を続けてくださっているみなさま、
ご意見や感想をお寄せください。また、ご家族やご友人に
もご紹介いただき、球美の里への支援の輪をさらに広げて
いただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

このニュースレターは、球美の里のホームページからカラ
ーでご覧いただくことができます。「ニュースレターはホーム

ページで見るので、送付不要」という方は、球美の里の東
京本部までご連絡をください。

※メールやFAXをいただく際には、ご住所・お名前もご記入
くださいますようお願いいたします。

※ご寄付くださる方の便宜を考慮して郵便局の払込用紙を
同封しましたが、寄付を強要するものではありません。

認定 NPO 法人 沖縄・球美の里 NEWS LETTER『球美の里だより No.10

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-19-7 タックイレブン高田馬場 702 号室

TEL: 03-6205-6139 FAX: 03-6205-6140 メール: tokyo@kuminosato.net

ホームページ: www.kuminosato.com/

保養ブログ: <http://kuminosato.blog.fc2.com/>

フェイスブック: <https://www.facebook.com/kuminosato.net>

インスタグラム: https://www.instagram.com/kumino_sato